

施設名称	〔45〕 東京都台東区立千束社会教育館					
指定管理者の名称	株式会社山武（現アズビル株式会社）			指定期間	H24.4.1 ~ H29.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	ビルディングオートメーション、産業オートメーション、システム開発、設計、製造、販売、賃貸、工事施工、保守、輸出並びに試験及び検査等					
(2)類似施設の管理実績	東京都北区滝野川体育施設他35施設					
(3)経営状況	売上総利益		販売費・一般管理費		営業利益（単位：百万円）	
	22年	61,831	49,160	12,670		
	23年	61,807	50,536	11,271		
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区浅草4-24-13（千束小学校3F）					
(2)設置目的	区内の社会教育登録団体等に自主学習の場を提供し、学習活動及び組織活動を活発に行わせる。ラーニングスクウェア等を開設し自主グループの結成、区民の生涯教育、文化教育の向上に助力する。					
(3)利用者	社会教育団体として登録されている団体。生涯学習課及び指定管理者が行う事業に参加する区民等					
(4)開館日・時間	開館日：火曜～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：年末年始（12/28～1/4） 設備点検日					
(5)規模	ホール：50名(107㎡) 和室：25名(49㎡) 会議室：45名(70㎡)					
(6)人員体制	週40時間勤務 5名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	1.生涯学習・社会教育活動に関する資料の収集及び学習情報の提供 2.施設利用者の生涯学習・社会教育活動に対する指導、助言及び相談 3.生涯学習ラーニングスクウェアの実施					
(2)自主事業	5講座実施 延べ17回 延参加人数276名					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	13,302,000	13,749,000	14,065,000	14,117,000	13,879,000
	料金収入等	2,000,000	1,500,000	1,320,000	1,340,000	1,400,000
	管理経費	15,302,000	15,249,000	15,385,000	15,457,000	15,279,000
決算	委託料	13,302,000	13,650,000	14,065,000	14,117,000	13,879,000
	料金収入等	1,381,300	1,435,870	1,594,760	1,659,650	1,446,695
	管理経費	14,966,152	15,085,870	15,659,760	15,776,650	15,325,695
	収支	-282,852	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
年間開館日数		日	341	340	342	343
ラーニングスクウェア講座数		講座	13	13	12	13
自主事業講座数		講座	3	4	6	5
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （25年度）	21年度	22年度	23年度
利用率		%	51.0	50.7	54.1	48.9
利用件数		件	1,500	1,485	1,594	1,440
利用人数		人	20,500	21,090	21,296	19,998

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

夏節電対策の一環で室温を28℃設定にしている分、3階まで階段で上がってきた利用者のために凍らせた保冷剤配布サービスを行なった。利用者の利便を考えた会議室等の使用案内表示や掲示物を見やすく配置する工夫をしている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [3]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [2]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	勤労者サービスセンター事業とタイアップした講座を開設し、利用者層拡大に努めた。館内表示を工夫し、継続利用者の確保も図られている。
(2)施設の維持管理	A	通路が外階段になっているため雨天時は3階までモップかけをして足元の安全確保に努めている。また利用者の要望を取り入れながら会議室のテーブルをセッティングしやすいタイプに替えたり、ミネラルウォーターを設置し来館者に提供している。
(3)利用者の満足度	A	学校に隣接している施設なので、子どもが主体的に参加できる講座を実施している。またサークルが主体的に企画運営する講座を実施することで、会員が充実感や達成感が持て、サークルの活性化にもつながった。
(4)歳入歳出	A	震災の影響もあるが、毎年増加していた料金収入が下がった。利用料金免除の団体数が増えていることも収入減の要因になっている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	震災の影響と節電対策等で、毎年増加していた料金収入が下がったが、利用者の利便性を考えた館の運営と、立地を生かした講座の企画によって利用率の増加を図っている。
-----------	--

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

既存サークルの活性化や、新規サークルの支援を引き続き行うとともに、今まで館を利用したことがない年代層に向けての講座によって利用率向上に努める。研修によるスタッフの人材活用により学びの還元につながる学習プランづくりに尽力し、生涯学習を行なう施設利用者の増加に努める。